

生成AIを活用した 「課題解決型 擬似OJT」

ITスキルゼロの学生が、生成AIと共に
現場課題に挑む実践トレーニング



対象

AI・IT専門外の学生（医療事務系）



手法

架空の医療現場のケースを題材にした
業務シミュレーション



現場の課題を解決する 「As is / To be」思考

AIの使い方ではなく、「現状」と「理想」のギャップを埋める思考法を習得。



As is

現状



Gap

課題



Action

行動



To be

理想

🏠 具体例：病院の待ち時間問題

As is : 現状

待合室が混雑し
クレーム発生

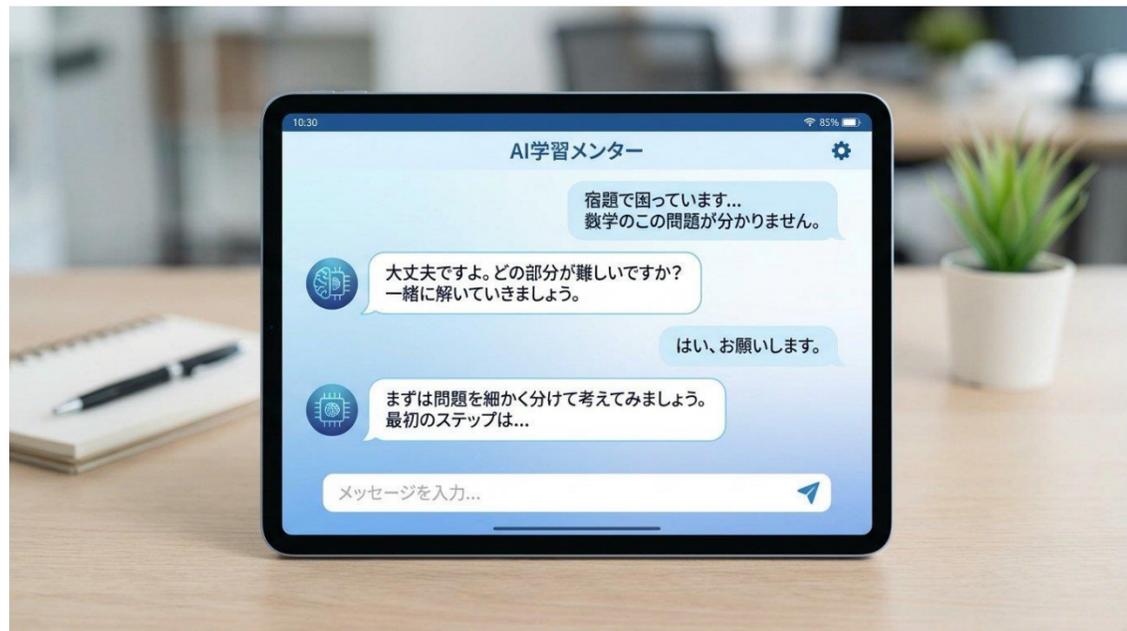
Action : 行動

AIと対話して
オペレーション改善案を作成

To be : 理想

待ち時間半減、
患者満足度向上

24時間いつでも相談できる 「AIメンター」



「先生が教えない」仕組み

基礎的な質問や壁打ちは、専用の「AIロボット」が24時間対応。



教員の役割

知識の伝達ではなく、学生の気づきを促すファシリテーションに集中。



効果

教員の準備工数を削減しつつ、学生の個別の質問に100%対応可能。

「AIに使われる」のではなく 「AIを使う」人材へ

本授業のゴールは、プロンプトエンジニアの育成ではありません。

◎目指す姿

- 🗨️ 現場の「違和感」を言語化できる。
- 💡 AIという「部下」を使って、業務改善を具体的に提案できる。
- ❤️ 顧客（患者）にとっての価値を常に考えられる（ドクターの思考）。

PROFESSIONAL DEVELOPMENT
AI EMPOWERMENT. CASE STUDY